

# 第44期 株主通信

2015年1月1日 ▶ 2015年12月31日



## 商空間の創造を通じて 豊かな社会の実現に貢献します

ごあいさつ

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、第44期(2015年1月1日から2015年12月31日まで)を終了いたしましたので、その概要をご報告いたします。

当事業年度(2015年度)のディスプレイ業界におきましては、ショッピングセンターを中心とした商業施設の新規出店や定期借家契約満了によるリニューアルに伴う、テナントの新規出店および改装の増加により、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような事業環境において、当社は継続したコスト管理に努めるとともに、社内体制の整備および強化を行い、お客様のニーズにお応えしてきました。

この結果、当事業年度の売上高は513億71百万円(前事業年度比6.5%増)、営業利益は35億45百万円(同8.6%増)、経常利益は35億46百万円(同5.5%増)、当期純利益は22億27百万円(同26.7%増)となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### ■配当金について

当事業年度の1株当たり期末配当金は、普通配当23円に特別配当4円を加えまして27円とさせていただきます。



代表取締役社長

若林弘之

代表取締役会長

加藤千寿夫

## 監査等委員会設置会社への移行

2016年3月30日開催の第44期定時株主総会のご承認を受けて、当社は監査等委員会設置会社へ移行いたしました。これにより取締役会の監督機能を高めるとともに、取締役に取締役会の業務執行権限の一部を委託し、より迅速かつ効率的な会社運営を図ることにより、コーポレート・ガバナンスを強化し、企業価値の向上を図ってまいります。

## 2016年度の業績予想

(2016年1月1日～2016年12月31日)

|       |           |            |        |
|-------|-----------|------------|--------|
| 売上高   | 51,500百万円 | 前事業<br>年度比 | 100.3% |
| 営業利益  | 3,600百万円  | 前事業<br>年度比 | 101.6% |
| 経常利益  | 3,600百万円  | 前事業<br>年度比 | 101.5% |
| 当期純利益 | 2,270百万円  | 前事業<br>年度比 | 101.9% |

## 2016年度の配当予想

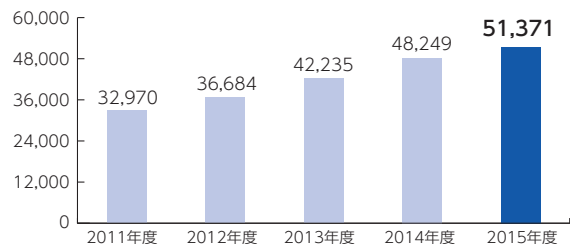
2016年度の配当金につきましては、内部留保の充実による経営基盤の強化を目指す一方、収益力の一層の向上と財務体質の強化を図り、安定配当を維持することを基本とし、株主の皆様へ利益還元を心掛けることを方針としております。この方針にしたがい、2016年度の年間配当金は1株当たり50円(中間25円、期末25円)を予定しております。

年間配当金 **50円**  
(中間25円・期末25円)

## 業績の推移

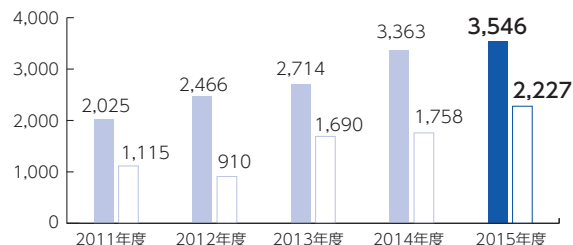
### ■売上高

(単位：百万円)



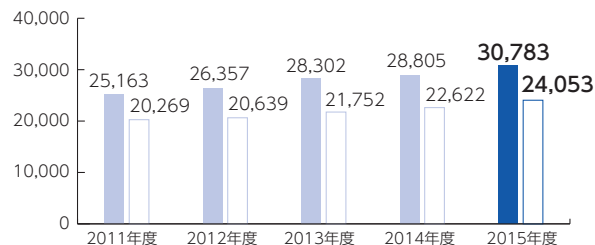
### ■経常利益 □当期純利益

(単位：百万円)



### ■総資産額 □純資産額

(単位：百万円)



### 第44期(2015年度)の概況はいかがでしたか。

2015年度は、当社を取り巻く事業環境は緩やかな回復基調で推移するものの、前事業年度の消費税増税前の駆け込み出店の反動により、受注は減少するものと予想していました。また、中期経営計画の2年目として、最終年度売上高500億円を達成するために、社内体制整備を目指してきました。しかし、飲食関連や金融関連等、各種専門店および電鉄系デベロッパーからの受注が予想以上に増加し、売上高は500億円を超える結果となりました。

この増加の主な要因としては、消費税増税前の駆け込み出店の反動が軽微であったこと、開発部門主導による新規お客様の獲得および既存お客様への提案営業、加えて、企画設計・監理部門との連携による新規デベロッパーからの受注獲得と考えています。

また、社内体制整備として人材の確保・育成や、安全・品質管理にも力を入れてきました。

### 第45期(2016年度)の展望についてお聞かせください。

2016年度は、アパレル業界や大型商業施設いわゆるショッピングセンターの新規出店は苦戦が続くものと予想しています。

しかし、ホテル・医療関連などのサービス等における、新規お客様の獲得や既存お客様への深耕営業により、受注は増加できるものと考えています。

また、新たに沖縄に事務所を開設し、北は北海道から南は沖縄まで、文字通り全国対応のネットワークが完成いたしました。これにより、沖縄における新規お客様の獲得や、提案に繋がるメンテナンス事業への取り組みも開始してまいります。

人材についてはまだ不足しているため、2015年度同様に積極的な採用活動を行うとともに、確保・育成に力を入れてまいります。



## 中長期における経営目標

当社は、多様化するお客様のニーズや受注競争の激化など厳しい事業環境に適応するために、2016年度を最終年度とする3ヶ年中期経営計画を遂行しています。当事業年度においては、売上高513億円を達成し、売上高、営業利益とも計画値を上回り、順調に推移しています。

中期経営計画の2016年度売上高目標515億円、営業利益目標36億円を達成するために、2016年度においても、利益率向上の仕組みづくりとともに生産基盤構築に注力してまいります。

## 方針と戦略

### 1. 既存主要顧客基盤の深耕

お客様の要望に沿う組織体制／メンテナンスサービスの強化および提案型営業

### 2. 商業施設業界における新規顧客の獲得

既存エリアおよび未開拓エリアにおける新規顧客の獲得／海外市場への対応強化

### 3. 新規市場の拡大・開拓

新規市場領域への取り組み強化／メンテナンス市場への挑戦

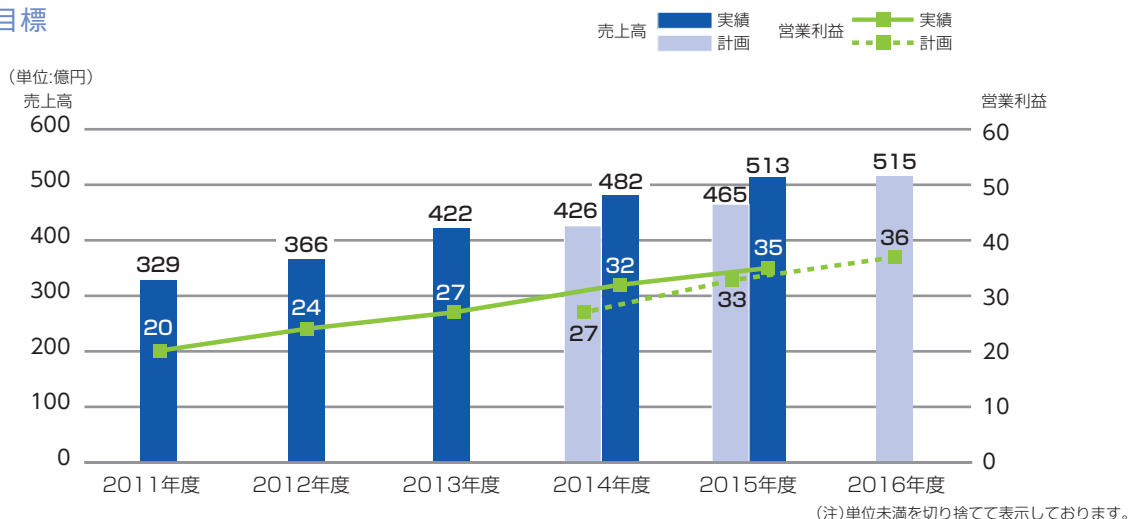
### 4. 施工体制の強化

新規市場対応を視野に入れた協力業者の整備・開拓／安全教育の推進と資格保有者の増員

### 5. 有能なスペシャリストと若手リーダーの育成

専門性の高い組織の構築／デザイナー・ディレクターの育成と教育制度の充実

## 業績目標



## 新規市場の拡大と開拓

札幌市地下鉄大通駅 SAPPORO SNOW VISION

2015/10/1 OPEN

クライアント：札幌市交通局様

当社の中期経営計画における方針と戦略の1つである、「新規市場の拡大・開拓」の取り組み状況と実績をご報告いたします。

現在までの取り組み状況としましては、ホテル事業／行政事業／金融事業／医療事業／イベント／展示関連への実績を残すことができ、売上も徐々に増加いたしております。今回はその中の1つである、地下鉄大通駅コンコース内にて設計・施工いたしました、札幌市交通局様の「札幌市地下鉄大通駅 SAPPORO SNOW VISION」についてご紹介いたします。





## 担当者のコメント

担当部署：東京第1本部 札幌事務所  
商環境研究所（東京）

札幌市地下鉄大通駅の広告メディアとして、デジタルサイネージ広告を展開するための筐体デザインの設計施工を受注することができました。クライアントである札幌市交通局様は、従来のデジタルサイネージにない筐体デザインを要望されていました。

地下鉄大通駅を利用するたくさんの人々に、いかに広告をアピールし、周囲の環境に溶け込みながら、かつ存在感のある筐体デザインを目指し、札幌事務所と商環境研究所が連携し取り組んだ物件です。最も理想的な「形」を作り出すため、多数のプランを考案いたしました。

人の流れとモニター面の視認性の最も高い位置を追求するため、施設全体の模型から筐体デザインの模型まで多数作成し、また、筐体の意匠だけではなく空間全体の環境も考慮し、練り上げたデザインとなっています。

さらに現地での1/1模型の検証、照明の光量、素材の検証等を実施いたしました。でき上がった設計図を一から再設計するなど、何度も作り替え、検証に検証を重ねました。

今回の筐体製作で得た知識や技術は、大変大きな収穫となり、今後の新たなチャレンジに大いに生かせると実感しています。



## トピックス

### 沖縄事務所開設

このたび当社では、沖縄県における営業機能を拡充するため沖縄事務所を開設し、2016年1月4日より業務を開始いたしました。

今後とも倍旧のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社スペース 沖縄事務所

〒900-0033 沖縄県那覇市久米2丁目4-6 明治安田生命沖縄ビル別館 4F

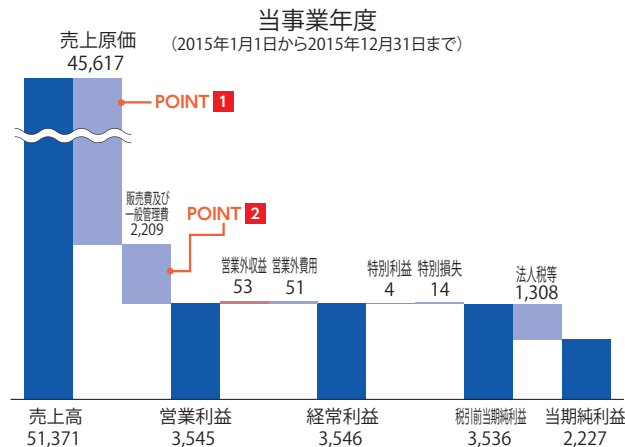
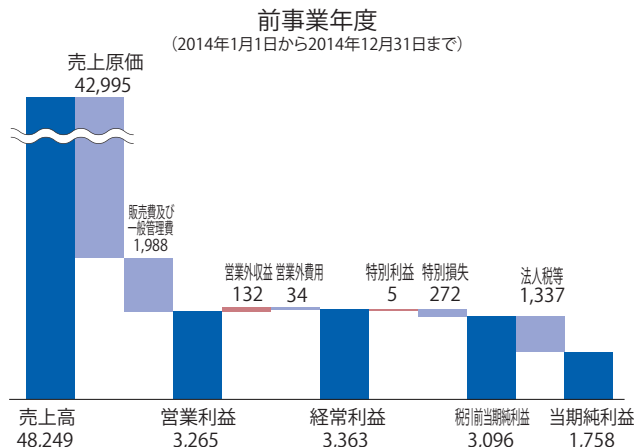
TEL 098-867-5850 FAX 098-867-5849



# 財務データ

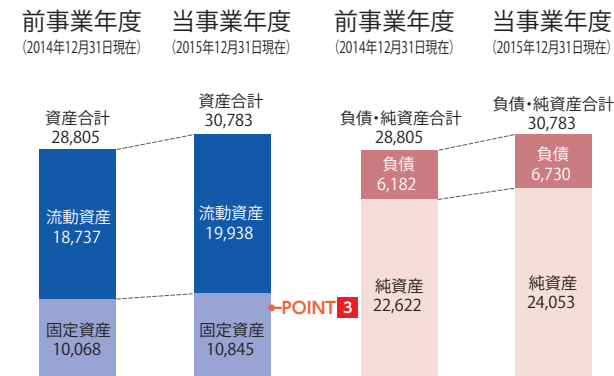
## 損益計算書より

(単位:百万円)



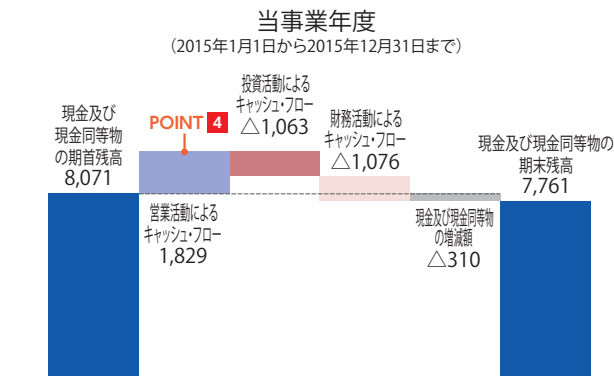
## 貸借対照表より

(単位:百万円)



## キャッシュ・フロー計算書より

(単位:百万円)



### POINT 1 売上原価

人手不足や資材価格の高騰等による外注費の増加により、前事業年度比6.1%増の456億17百万円となりました。

### POINT 2 販売費及び一般管理費

社内体制の整備および強化に向け積極的な採用活動を実施した結果、前事業年度比11.1%増の22億9百万円となりました。

### POINT 3 固定資産

本社増築に伴い、有形固定資産が前事業年度末より6億99百万円増加したことにより、前事業年度末と比べ7億77百万円増加の108億45百万円となりました。

### POINT 4 営業活動によるキャッシュ・フロー

法人税等の支払が11億30百万円あったものの、税引前当期純利益の計上35億36百万円等がキャッシュを押し上げた結果、前事業年度と比べ2億91百万円減少の18億29百万円となりました。



# 事業の概況

## 制作品別、市場分野変更のお知らせ

当社はディスプレイ事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載に代えて市場分野別、制作品別にわけて記載しておりますが、お客様の業種・業態の多様化に伴い見直しを行い、当事業年度より下記の通り変更いたしました。

### 制作品別売上高

| 【新】制作品別    | 内容               |
|------------|------------------|
| 内装・外装工事    | 常設施設の内装・外装に関する工事 |
| イベント・展示工事  | 一時的な施設に関する工事     |
| 建築工事       | 建築物の躯体に関する工事     |
| メンテナンス工事   | 補修・修繕を目的とした工事    |
| 企画・設計・内装監理 | 企画・設計・内装監理       |
| その他        | 納品等(上記に該当しないもの)  |

### 2015年度

| 【新】制作品別    | 売上高    | 前年度比  |
|------------|--------|-------|
|            | 百万円    | %     |
| 内装・外装工事    | 48,000 | 106.3 |
| イベント・展示工事  | 65     | 141.7 |
| 建築工事       | 1,068  | 182.0 |
| メンテナンス工事   | 642    | 93.3  |
| 企画・設計・内装監理 | 894    | 77.7  |
| その他        | 699    | 116.5 |
| 計          | 51,371 | 106.5 |

### 市場分野別売上高

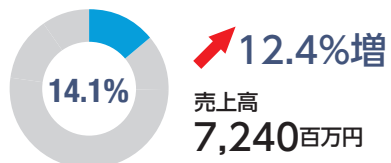
| 【新】市場分野別          | 内容                           |
|-------------------|------------------------------|
| 複合商業施設・総合スーパー     | 複合商業ビル・駅ビル・ショッピングセンター・総合スーパー |
| 食品スーパー・コンビニエンスストア | 食品スーパー・コンビニエンスストア            |
| 各種専門店             | 物販店(食料品・衣料品・服飾雑貨・生活用品・書籍等)   |
| 飲食店               | 飲食店                          |
| サービス等             | 医療・金融・教育・娯楽等(上記に該当しないもの)     |

### 2015年度

| 【新】市場分野別          | 売上高    | 前年度比  |
|-------------------|--------|-------|
|                   | 百万円    | %     |
| 複合商業施設・総合スーパー     | 7,240  | 112.4 |
| 食品スーパー・コンビニエンスストア | 5,749  | 114.0 |
| 各種専門店             | 26,783 | 98.0  |
| 飲食店               | 6,722  | 107.1 |
| サービス等             | 4,875  | 154.2 |
| 計                 | 51,371 | 106.5 |

※円グラフ内の％は構成比を表示しております。

## 複合商業施設・総合スーパー POINT 1



### TOZAN EAST

2015/11/27 OPEN

クライアント：箱根登山鉄道株式会社様



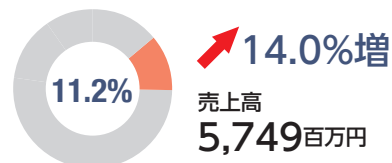
#### POINT 1

複合商業施設・総合スーパー分野では、新規商業施設の出店および既存商業施設の改装に伴う受注により、売上高は増加いたしました。

#### POINT 2

サービス等分野では、娯楽・余暇関連の新規出店および既存店舗の改装に伴う受注のほか、金融関連の新規出店の受注により売上高は大幅に増加いたしました。

## 食品スーパー・コンビニエンスストア



### ライフ清水谷店

2015/3/11 OPEN

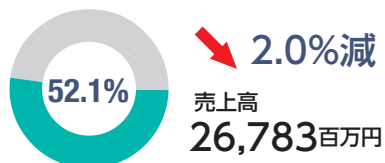
クライアント：株式会社ライフコーポレーション様



「LIFE DINING」というキーワードをもとに「食」を楽しみ、心地よく買い物していただける空間を提案しました。今後、関西圏では当店舗の内装をベースに展開されます。

小田原駅前にある旧箱根登山VIERGEの建替プロジェクトです。長年地域とともに育んできた歴史を未来へ繋ぐため、この地を感じていただく内外装デザインとしています。地域に根差し、小田原のシンボルとなる施設となりました。

## 各種専門店



### JINS 上海宏伊国際広場店

2015/10/23 OPEN

クライアント：株式会社ジェイアイエヌ様



中国有数の観光スポット、南京東路には世界のブランドが集まっています。他店との差別化を図るため、「光・音・多くの人が行き交う場所にJINSのホワイトキューブがやさしく浮かび上がる」情景を作り出しました。

## 飲食店



### Sarabeth's Tokyo

2015/12/4 OPEN

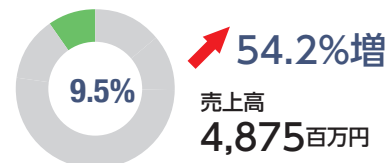
クライアント：株式会社WDI JAPAN様



「ニューヨークの朝食の女王」と評されるサラベス様が、東京丸ノ内にオープンしました。多様な客層が見込まれる立地を生かして今までのかわいらしいデザインを一新し、「大人のサラベス」をご提案しています。

## サービス等

POINT 2



### ハートフルセンター半田「育」-はぐみ-

2015/12/17 OPEN

クライアント：社会福祉法人 半田市社会福祉事業団様



常時介護を必要とする障がいを持つ方が食事の介護や身体機能訓練を受けながら、創作的活動を通じて豊かな生活を提供するための施設です。明るく心地よく利用していただける空間を目指しました。

会社概要

- 商 号 株式会社 スペース (SPACE CO., LTD.)
  - 本 社 東京都中央区日本橋人形町三丁目9番4号
  - 設 立 昭和47年10月5日
  - 資本金 33億9,553万7,101円
  - 従業員 852名 (役員14名、子会社出向者9名を除く)
  - 役 員
- |         |        |         |        |
|---------|--------|---------|--------|
| 代表取締役会長 | 加藤 千寿夫 | 取締役     | 菊池 利夫※ |
| 代表取締役社長 | 若林 弘之  | 取締役     | 川村 修三※ |
| 代表取締役専務 | 林 不二夫  | 取締役(社外) | 前川 弘美※ |
| 常務取締役   | 岡島 昇   | 取締役(社外) | 和田 良子※ |
| 常務取締役   | 清水 康史  | 取締役(社外) | 田口 聡志※ |
| 常務取締役   | 佐々木靖浩  | 執行役員    | 塚谷 光次  |
| 取締役     | 大藪由紀夫  | 執行役員    | 鈴木 孝雄  |
| 取締役     | 兼子 正則  | 執行役員    | 森田 昭一  |
| 取締役     | 林 顕    | 執行役員    | 片岡 純二  |
|         |        | 執行役員    | 武内 浩之  |

(注) 2016年3月30日現在の役員を記載しております。  
※の者は、監査等委員である取締役であります。

当社ウェブサイトのご紹介

最新の実績紹介のほか、ニュースリリースやIR情報など、当社の事業活動についての情報を掲載しています。  
ぜひご覧ください。

<http://www.space-tokyo.co.jp/>



株主メモ

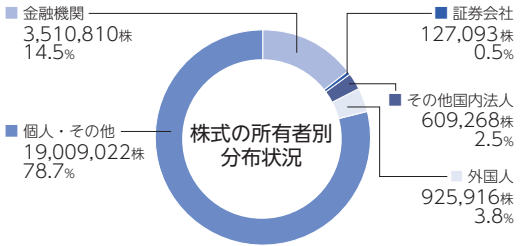
|         |                                                                                      |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業年度    | 毎年1月1日から12月31日まで                                                                     |
| 定時株主総会  | 毎年3月                                                                                 |
| 株主確定基準日 | 定時株主総会 12月31日<br>期末配当金 12月31日<br>中間配当金 6月30日<br>その他必要があるときは、取締役会の決議により、あらかじめ公告した一定の日 |
| 単元株式数   | 100株                                                                                 |
| 公告掲載新聞  | 日本経済新聞                                                                               |

株式の状況

- 発行可能株式総数 40,669,200 株
- 発行済株式の総数 21,970,216 株  
(自己株式数2,211,893株を除く)
- 株主数 4,384 名
- 大株主

| 株主名                    | 持株数(株)    | 持株比率(%) |
|------------------------|-----------|---------|
| スペース従業員持株会             | 2,749,043 | 12.5    |
| 加藤千寿夫                  | 1,628,300 | 7.4     |
| スペース取引先持株会             | 1,352,240 | 6.2     |
| 若林 弘之                  | 1,022,200 | 4.7     |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行          | 620,040   | 2.8     |
| 高津 伸生                  | 581,320   | 2.6     |
| 若林 幸子                  | 565,200   | 2.6     |
| 後藤 廣高                  | 516,000   | 2.3     |
| 高津久仁枝                  | 507,303   | 2.3     |
| GOLDMAN, SACHS&CO, REG | 453,200   | 2.1     |

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。



|                       |                                                                                                                          |
|-----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号<br>三井住友信託銀行株式会社                                                                                        |
| 郵便物送付先 (電話照会先)        | 〒168-0063<br>東京都杉並区和泉二丁目8番4号<br>三井住友信託銀行株式会社 証券代行部<br>電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)<br>取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。 |



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。

